

## 令和8年度第1回理事会議事録

1. 日 時 令和8年4月21日（火）14：00～16：10
2. 場 所 （一財）機械振興会館 6階61号室
3. 出席者 山田(勝)理事長、丸山副理事長、三木副理事長、山田(誉)理事、吉澤理事、田中理事、中川理事(WEB)、北川理事、滝本理事、辻理事、山口理事(WEB)、治田理事、山田(昌)理事、坪田専務理事、加藤監事、青木監事、江藤俊浩氏(オブザーバー参加)、株式会社アイシン・服部信宏氏(オブザーバー参加)、光明理化学工業株式会社・北川仁氏(オブザーバー参加)、村上事務局長[順不同]
4. 議事の概要

まず、事務局より、本日の出席状況について理事19名中出席14名(うちWEB参加者2名)が出席し、過半数の理事の出席により、本理事会が成立した旨の報告がなされ、次いで山田(勝)理事長より開会の挨拶が行われた後に審議に入った。

### 第1号議案 令和7年度事業報告(案)及び収支報告(案)の承認について

村上事務局長より、まず配付資料の「令和7年度事業報告(案)」に基づき事業活動の概況と実施事業活動の報告が行われ、オートサービスショーへの出展、各種調査の結果概要、講演会の実績、海外視察団や分科会の活動報告などについて説明がなされた。

次いで令和7年度の収支報告(案)については、収入・支出ともに当初予算額より微減したが予算に近い結果となり、収入超過分を投資活動支出に充て、繰越金額は前年度と同額としたこと等が報告された。

詳細として、事業活動収入の部では実質収入である会費収入等は賛助会員1社が入会した一方、正会員1社が退会したため減少となった。このため、収入は当初予算より約5万円減の33,776,751円となった。

事業活動支出の部では、まず事業費は総務関係の負担金支出は、二団体賀詞交歓会の経費及び編集委員会の異業種工場見学により当初予想を上回ったが、諸費支出は策定予算より約31万円減となった。次に管理費ではWindows10のサポート終了に伴うパソコン、経理ソフトの更新、工業会ホームページ管理画面のセキュリティ対策強化、10年毎のJAMTA商標更新などの支出があったが、リース契約の見直しや経費削減の更なる強化により予算より約8万円の支出減となった。このため、支出は当初予算より約16万円減の32,965,943円となった。

以上の結果、事業活動収支差額は当初予算の収入超過額見込みを約 11 万円上回る 810,808 円の収入超過となった。

また、投資活動の部では、展示会費等積立資産を 822,539 円取り崩したものの、事業活動収支差額が当初予算を上回ったため、退職給付引当資産取得支出は予算より修正し 111,938 円を支出、展示会等積立資産取得支出額は当初予算より増額した 1,521,409 円を支出して 810,808 円の支出超過とすることで事業活動収支と投資活動収支を均衡させたことが報告された。

最後に、令和 8 年 4 月 13 日（月）に工業会事務局にて加藤監事と青木監事により監査が実施され、事業運営及び財務処理は、定款等関係規定に基づき適法かつ公正妥当に執行されている旨が監査意見書により報告された。

以上を、議長が議場に諮ったところ、出席理事全員異議なく、これを承認した。

## 第 2 号議案 令和 8 年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認について

村上事務局長より、令和 8 年度の事業計画について配付資料に基づき説明が行われ、オートサービスショーが未開催となる年度であるが、各種講演会及び賀詞交歓会の予定等について報告があった。

次いで収支予算（案）についても配付資料に基づき説明が行われ、実質収入である会費収入は前年度に正会員の退会と賛助会員の新規入会があり会費差額により減額となること、負担金収入は前年度と微減するもほぼ同水準で予定している旨について説明がなされた。

支出では、坪田専務理事退職金の支出があるものの、生産実績管理ソフトの解約などをはじめ、さらに経費削減を推進し支出減を目指すとした。

その結果、収入超過が見込まれる事業活動収支差額を投資活動支出として積み立て、前年度同様に収支均衡の予算として計上したことが報告された。

以上を、議長が議場に諮ったところ、出席理事全員異議なく、これを承認した。

## 第 3 号議案 役員全員任期満了に伴う選任候補者（案）の承認について

村上事務局長より、配付資料に基づき、理事候補者（案）19 名、監事候補者 2 名（案）について説明が行われ、令和 8 年度通常総会に役員（理事・監事）候補者（案）として上程することが承認された。

今回退任予定の理事は、二瓶久氏（株式会社アルティア）、田中滋氏（京都機械工具株式会社）、北川不二男氏（光明理化学工業株式会社）、山田勝己氏（三栄工業株式会社）、坪田一郎専務理事である。また、新たに就任予定の理事は、

田崎克弥氏（株式会社アルティア）、伊吹和彦氏（京都機械工具株式会社）、北川仁氏（光明理化学工業株式会社）、坂本正紀氏（三栄工業株式会社）、江藤俊浩氏である。

さらに、本役員候補者案が総会で承認された場合、総会終了後、新役員による臨時理事会を開催し、新理事の中より理事長と副理事長（2名）及び専務理事を選定する予定である。なお、理事長及び副理事長を定款第22条第3項の規定による代表理事、専務理事を同条第4項による業務執行理事とする。

これらの役職候補者（案）は以下のとおりである。

理事長 【就任】 丸山将一（エムケー精工株式会社 代表取締役社長）  
副理事長【重任】 三木健太郎（株式会社三協リール 代表取締役）  
副理事長【就任】 山田昌太郎（株式会社ヤマダコーポレーション 代表取締役社長）  
専務理事【就任】 江藤俊浩（(一社)日本自動車機械器具工業会）

退任及び就任予定者より、各自挨拶が行われた。

次いで、工業会の顧問は総会の同意を得て委嘱することとされている旨の説明があり、下記3名を顧問候補者（案）として通常総会に提案することについて審議が行われた。

辻 洋 【重任】（株式会社東日製作所 取締役会長）  
北川 不二男 【就任】（光明理化学工業株式会社 代表取締役社長）  
山田 勝己 【就任】（三栄工業株式会社 会長）

審議の結果、議長が議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認し、上記候補者を候補者（案）として通常総会に上程することが決議された。

#### 第4号議案 その他

##### ① 令和8年度通常総会について

村上事務局長より、配付資料に基づき、令和8年5月26日（火）に通常総会を開催し、今回はオンラインの併用は行わない旨の報告がなされた。これに対し特段の異議はなく、本件は了承された。

##### ② 令和8年度永年勤続優良従業員表彰の被表彰者について

村上事務局長より、配付資料に基づき、令和8年4月21日（火）現在、

7社から11名が被表彰者として推薦されていることが説明されている旨の説明がなされた。審議の結果、これら推薦者を被表彰者として承認した。

③ 令和8年度海外視察について

村上事務局長より、配付資料に基づき、令和8年12月1日（火）から4日（金）の期間で中国の広州モーターショーの視察を予定し、深圳のBYD本社の見学などについて交渉中である旨の説明がなされた。また、7月22日（水）に関連講演会を開催する予定であることが報告された。続いて、三木国際委員長より補足説明があった。これに対し特段の異議はなく、本件は了承された。

④ 技術委員長の交代について

村上事務局長より、配付資料に基づき、山田昌太郎氏が副理事長候補者となったことに伴い、株式会社司測研の代表取締役社長である大司毅氏が令和8年度から委員長に就任する旨の報告がなされた。続いて、前技術委員長の山田（昌）理事より挨拶があった。これに対し特段の異議はなく、本件は了承された。

⑤ シール・袋の提供価格改定についての報告

村上事務局長より、配付資料に基づき、製造原価上昇に伴い、令和9年4月1日（木）から取説袋が98,000円（500袋）、日常点検シールが33,000円（1,000枚）に改定する予定である旨の報告がなされた。これに対し特段の異議はなく、本件は了承された。

⑥ 事務局職員の給与改定について

村上事務局長より、配付資料に基づき、先般における諸物価の高騰を踏まえた事務局職員の給与改定について提案がなされた。本件は事前に総務委員会に諮り、了承を得ていること、また給与改定の実績を設ける観点からも必要である旨の説明があり、続いて山田（誉）総務委員長より補足説明が行われた。

なお、本審議の中で、昇給率の設定方法や給与テーブルの抜本的見直しについては、今後の検討課題である旨の意見が出された。また、関連して会費の見直しおよび会員数増加施策について検討の必要性が指摘され、会費の見直しについては正副理事長にて、会員数増加施策については総務委員会にて今後検討していくこととなった。

その後、出席理事による審議の結果、本件は提案のとおり満場一致で承認された。

その他の提案事項について議長が議場に諮ったところ、他に意見はなく、以上をもって議事を終了した。以上、本理事会の議事を証するため議長及び議事録署名人が、ここに記名押印する。

令和8年4月21日 一般社団法人 日本自動車機械器具工業会

議長 山田 勝己

議事録署名人 加藤 弘樹

同 青木 治樹

以上